

平成28年度
大海小学校だより

9月号

おおみ

平成28年8月31日

校長 山本 洋

＝オリンピックメダリストのインタビュー＝

今日は始業式、まだ8月ですが2学期をスタートさせました。4月の新学期が曜日の関係で1日遅く始まったので、2学期は1日早くスタートさせました。

さて、この夏は「ブラジルのリオ」でオリンピックが開かれ、メダルをめぐり数々のドラマが繰り広げられ、まだまだ感動の記憶が新しいところです。リオデジャネイロは、日本とはちょうど地球の裏側、活動時間が反対になり、寝不足になった方も多いのではないのでしょうか。

日本人選手の活躍がめざましく、これまで最多のメダリストが誕生しました。金メダル12個を含む合計41個のメダル獲得です。石川県出身の選手もすばらしい成績でした。レスリング川井選手の金メダル、水泳小堀選手の銀メダル、柔道松本選手の銅メダル、3つの色がそろいました。

テレビや新聞では、連日メダリストへのインタビューが報道されました。どの選手もこれまでの努力が実を結んだことに喜んでいました。そのインタビューの中で、どの選手も必ず述べている言葉があることに気づきました。

「このメダルは自分の力だけで手に入れることができたものではありません。たくさんの人の応援、支えがあったから…

みなさんのおかげで入賞することができました。ありがとうございます。」今日の自分があるのは、周りで応援してくれたたくさんの人たちが居たからだ」と感謝の気持ちを必ずとっていいほど話していました。ずっとつきっきりで指導してくださったコーチ、練習に打ち込めるよう



時事通信社HPより



日本レスリング協会サイトより

に生活を支えてくれた両親や家族に対し、素直に最大限の感謝の言葉を述べ、一緒に喜びを分かち合っていた姿が本当に印象的でした。

偉ぶることなく謙虚さが感じられるだけでなく、こういう風に「感謝の気持ち」を持ち続ける人でなければ大成することがないと感じました。自分一人の力でここまで来られたのではない、たくさんの人のお世話のおかげでこの快挙をなしえることができたのです。

さすが世界の頂点を極める人たちです。

大海小では、いろいろな機会に地域の皆さんと交流し、たくさんのご支援をいただいています。コミュニティスクールの取組もその一つです。本校の子どもたちにも、今の自分があるのはたくさんの人の支えがあるからということ、これからも周りのいろいろな人に支えられて生きていくのだ。そういう感謝の心で毎日の生活を送ることができる、心豊かな立派な人間に成長して行ってほしいと思います。